

お釈迦さんの生誕を祝う 花祭り



あすなる児童館の子どもたちが、4月8日に住雲寺の花祭りで甘茶をいただきました

4月8日は、お釈迦さん(釈尊)の誕生日です。お釈迦さんの生母マヤ夫人が産のため生家に帰る途中、カピラ城内のルンビニー園で、咲き誇る無憂華の樹の下で生まれたとされています。そのとき空から甘露の雨が降り、美しい音楽が聞こえ、お釈迦さんの誕生をお祝いしたと伝えられています。

季節の花で飾った花御堂の中央に置く、水盤(灌仏盤)の中に、小さなお釈迦さんの像(誕生仏)を安置します。甘茶を像の頭上からそそぎかけ、そして甘茶をいただきます。花祭りとは、灌仏会・仏生会の別の呼び名です。御来屋町誌(昭和11年発行)には、「4月8日 釈迦誕生の日 卯の花(ウツギ)を軒先に立て、寺に参拝して甘茶を馳走になつて帰る この日灌仏する」とあります。今年の旧暦4月8日は5月26日、少し季節がずれました。そこで文珠領の住雲寺の花祭りは、新暦の4月8日におこなわれました。倉谷の法恩寺では、5月26日におこなわれます。近年御堂も新しくなり、御詠歌の会(梅花講)の方が、花御堂を美しく飾られます。花祭りにはみなさんそろってお参りし、お釈迦さんのロマンに満ちた誕生日をお祝いしましょう。

(名和町歴史研究会 高島信平)



季節の花できれいに飾られた法恩寺の花御堂 (平成14年5月19日)

お釈迦さんは生まれるとすぐ、7歩歩かれ、右手を上、左手を下にして、「天上天下唯我独尊」と言われたそうです。甘露の雨とは、産湯を使ったことの表現です。「天上天下…」のことは、お釈迦さんが理想を高くかかげ、現実には足をどっしりかまえて努力と精進することを誓われたのです。つまりお釈迦さんの誕生をロマンとして表現したものです。花祭りはお釈迦さんの誕生を祝した法会です。

こんなことやってます!

公民館サークル紹介 38

リフレッシュ健康を守る会

健康づくりに最適です

「リフレッシュ健康を守る会」は、平成10年度から活動を始めて、現在16名の会員で活動しています。流派にこだわらず、いろいろな気功や自然療法、またストレッチなどで健康維持増進、病氣予防、治療に役立つよう、会員一同明るく楽しく活動しています。気功にはたくさんの方がいますが、私たちの活動の内容は次のとおりです。八段錦法(医療気功)、五段放松印(ラクゼーション)と入静、自発動功(治療力を高める)、保健康長寿功(心身の鍛練、体を壮健にし、調和を高める)、清気法(体のにごった気を出し、まわりのきれいな気を取りいれる方法)、香功(脳を安静にし、調和を高める)、その他(ストレス、腰痛、肩こり、便秘、冷え症等解消)。気功は中国三千年の歴史の培われた健康法です。気を体感することから始め、そのコントロール法をわかりやすい、簡単な呼吸法で、体をほぐし実践しています。いつのまにか、心が落ち着き、穏やかな気分になります。年齢や体力を問わずに気楽に始めることができますので、ぜひ一度トライされて、あなたの健康ライフにお役立てください。入会をお待ちしています。



年間活動予定

【活動日】 毎月第1・2土曜日 午後8時~午後9時30分

【その他】 随時 公園気功・アウトドア気功・樹林気功・講習会

11月 公民館サークル発表会

【代表者】 隠岐迪子さん(御来屋7区)

【会費】 500円(月額)

【問い合わせ先】 公民館(54 2688)

私の傑作コーナー

曙短歌会

*印は新仮名

茶を点つる吾を見つめて友は云ふあなたの精神安定剤ね 遠藤 定子
*歌ならず握りつぶせる用箋はコンコンソソと立ち上がりたり 金田美彌子
息のしぐさまねて優しさ言ひながらよかつたですね 塩谷 肇子
卒園の記念樹植える子どもら手に持つシャベルときをり光る 角 公邦
散策する吾の歩調のゆるやかに手を引きくれる孫のぬくもり 角田 文字
*タベにはひとつ灯のつきし家真暗になりてひと月のたつ 寺井 悦子
こんもりと緑の泡の立つ薄茶ゆつくりゆつくり児はいただけり 戸野 愛子
*雑踏をのがれて来たる川岸にねこやなぎの芽ふくらみており 二宮留美子
*うぶうぶ胸のあたりのふくふくと笑まえる夢に目覚めし朝 野口 律子
幹にあてブナの鼓動を増幅するマイクに雪のとめどなく降る 森本 怜子
*ばあちゃんの持たせてくれた白梅が開きて子等の授業参観 山口 恭子

笹鳴句会

卒業子迎へる父母の至福かな 逢坂 常盤
引き売りの並ぶ草餅柔かし 國谷 麗子
花曇り行き交ふ人は犬つれて 砂口英二子
蓬餅母の捏ね取り弾みけり 津村 春水
散る花に空の青さを広げけり 角田 久子
草餅や姑のしぐさを偲びつつ 宮川 節子
地壁の稜線光る四温かな 橋本 昭子
手のひらの艶ののり来し蓬餅 美柑みつはる

みふね句会

海の青遠目に梨の花ざかり 秋山多喜子
蒼天を吾がもととして櫻咲く 来海 忠満
確かなる水のひびきや座禪草 国谷 耕川
菜の花があしらつてある京御膳 高島 満代
陽炎に浮きて列車の遠ざかる 津村 春水
若者の変なファッション萬愚節 中川 幸宗
味噌汁の具の菜の花匂ひけり 榊田 福女
夕暮の菜の花明り港町 松井 愛子
花冷の半熟卵すりけり 美柑みつはる